

一般会計予算決算常任委員会
産業建設分科会記録

令和2年9月14日

【開催日】 令和2年9月14日

【開催場所】 大会議室

【開会・散会時間】 午後0時15分～午後0時20分

【出席委員】

分科会長	中村博行	副分科会長	藤岡修美
委員	岡山明	委員	高松秀樹
委員	恒松恵子	委員	森山喜久
委員	宮本政志		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

局長	尾山邦彦	書記	光永直樹
----	------	----	------

【審査事項】

1 事業評価について

午後0時15分 開会

中村博行分科会長 それでは、ただいまより産業建設常任委員会の一般会計の分科会を開催いたします。最初に令和元年度の一般会計決算の事業評価表について皆さんにお諮りをしようと思います。お手元に既に副委員長に先日の協議も踏まえた中で、作っていただいております。1件ずつ何か意見があったら言っていただきたいと思います。最初に27番、街路灯修繕事業について、左の表は7番になっております。行政の事業評価表にも番号が入っていたでしょ。その分と同じにしてあるんですよ。ち

よっと分かりにくいんだけど、7番が若干濃くなっていると思うんですけど。令和元年度で事業完了しておりますので、休廃止というところですね。あとは読んでください。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは28番、小規模土木事業について、これは5番です。現状維持と現状維持です。あとで自由討議でお願いしたいと思います。それでは、29番、用途地域見直し事業、これは5番です。今日も説明がありました。それから30番、竜王山公園オートキャンプ場改修事業、これは2件あったんですよ。竜の遊具と電気設備。竜の遊具のほうは休廃止で7番の予定やったんですけども、結局今後も大掛かりな補修が必要ということがあったので、副分科会長の判断で5番にしています。ここは御議論の余地があるかと思いますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では5番でお願いします。次に31番、小野田駅前地区都市再生整備計画事業ですけど、これも5番です。5か年が最終年であると。それでは32番、バス活性化システム整備事業についてです。これも5番です。これは実際には予算化したんだけども、使わなかったということで、バスロケーションからICカードのほうに転換されたということですね。しかし、これからも両方を進めていくことについては補助していくということでありましたので、5番ということにしてよろしいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）33番、これも高松委員がおっしゃった部分がありますが、2番になっています。拡充と現状維持。高松委員がおっしゃったように随時この申請ができるように審査会を月2回に改善したけど、それ以上のことはできないかということがあったので、また御意見ください。それでは次に、山口東京理科大生の定住促進事業について、これは2番です。よろしいですね。（「はい」と呼ぶ者あり）それから35番、農業振興地域整備計画事業についてです。これも事業完了しているんですけども、令和2年で完了だから継続ということですね。5番です。それでは36番、県営経営体育成基盤整備事業ですが、5番です。最後37番、農地利用最適化推進事業、これも継続です。現状維持で5番です。それでは、評価表についての審査は終わります。次に令和元年度の決算全体の中で御意見があればということで

自由討議をしたいと思います。まず農林水産業費について、要望等あればと思いますが、行政への要望とかね。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは7款商工費で、高松委員が先ほど言われた例の融資の件をちょっと言ってください。

高松秀樹委員 中小企業振興資金融資事業の件ですけど、先ほど分科会でもコストの投入の方向性は現状維持ながら成果の方向性を拡充せよという結論が出ましたが、正しくそのとおりで、融資制度についてはやっぱりしっかり借りやすい仕組みを構築することが必要だと思います。現状を見てみるとやっぱり商工会議所の政府系金融機関から借りるというのが多いんじゃないかなって感じがしております。市の場合は審査会等を開いて、一定の時間も掛かっております。その資金の融資を受けたい方にとっては非常に長いタイムロスもあります。そういうことも含めて借りたい人に一定の審査は必要なんですけど、スピード感を持って借りられるような仕組みを構築することを望みます。

中村博行分科会長 それでは土木費で小規模土木について議論があったと思いますので、これも高松議員から出たと思いますのでお願いします。

高松秀樹委員 小規模土木は、自治会の費用負担が3割になっています。以前は2割であったのが3割になって2割にしたほうがいいという議論もあるかと思いますが、私自身は現体制の協創という考え方を含めて、ある一定の受益者負担が必要だと考えております。しかしながら、大きい自治会にとっての3割と非常に小さい自治会にとっても3割は、実質自治会負担が全く異なるってということから考えて、大きい自治会と小さい自治会で、ある程度その3割で比率ではなくて2割とか1割っていう柔軟な体制で臨むべきではないのかなって気はしております。

中村博行分科会長 ほかに土木はいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、以上で、産業建設の分科会を終わります。お疲れ様でした。

午後 0 時 2 0 分 散会

令和 2 年 9 月 1 4 日

一般会計予算決算常任委員会産業建設分科会長 中 村 博 行